

本来は闇の世界でしか生きられないはずのサキュバスが、  
聖なる加護を受けた神官の肉体を支配する。

ああ、まるで夢みたい…

あなたにとっては悪夢かもしれないけどね？

外側と内側、心と体、これでようやく自由の身…

とても晴れやかで素敵な気持ちよ、勇者くん

ふふふふ、今の気持ちはどうかしら？

軽く絶望しちゃってるみたいで、すごくいい顔してる…

何度も過ちを犯してくれてありがとう。

膣内射精（なかだし）でサキュバスに精を捧げた上に、  
愛しい彼女に施された淫紋にたっぷり精を浴びせてくれた今、  
私とあなた、そして彼女とのつながりは完璧よ

でもね、まだ足りないわ。

あなたの顔に絶望の色がほんの少し足りてないの。

私たちを祝福してくれるなら、もっと堕ちてもらわないとね

…いいものを見せてあげる。

貴方が愛するディアーナの本当の力を

闇にやどりし光、光に寄り添う闇、

聖なる体を分かち合う魂、

汚れなき心よ、ここに顕現(けんげん)せよ！

ここは…勇者様？それに…クイーン

おはよう、聖女様。

あなたの愛する勇者様のおかげで私は戻ってくることができたの

そう…よかったわね…

あらあら、随分そっけないこと！  
せっかくの再会シーンだというのに

クスクス、なあってね。勇者クン、うれしい？  
愛しいディアーナが戻ってきてくれたのよ。

しかも彼女は私の分身として。  
そうよね？ サキュバス・ディアーナ

はい…クイーン、さま…

いいお返事ね。  
んう…ちゅう、ちゅう…んっ、ちゅう

あっ、んう、んんう…ちゅっ、ちゅう…ちゅ…

んふふ、勇者クンの目の前にいるのは  
ディアーナの魂に、私の記憶や性技(せいぎ)を融合させた  
素敵な存在、まさに性女(せいじょ)よ。  
さあ今から二人がかりで、彼を困らせてあげましょうね

では私が彼を抑えますね。淫気解放(いんきかいほう)…

勇者様、ごめんね…ううん、ちがう。  
謝るべきはあなたのほうだよ

クイーンの中にいっぱい射精して…  
あれほど出さないでってお願いしたのに…

私の言うことを無視した結果、

こんなことになってしまうなんて…許せないよ

サキュバスに墮とされた私の気持ちなんて  
貴方にはわからないでしょう。だから…わからせてあげなきゃ

勇者様の全てを奪い尽くしてあげる。  
精液を絞り尽くして、徹底的に枯れ果てさせて、  
空っぽになったところへ私の愛を注いであなたを満たしてあげる  
私が勇者様を壊しちゃうんだ…ああ、素敵…

そうね。  
ディアーナと私の愛で彼の心と体を満たして、  
永遠に快樂の虜にしてあげましょう

はい、クイーン。仰せのままに

というわけで勇者クン。あなたは終わりよ。覚悟してね

勇者様…私のおっばい、  
前からよく見てたよね。本当にエッチなんだから

彼の望み通りにしてあげたら？

はい、そうさせていただきます。  
エッチな童貞だった勇者様、私の体…しっかり感じてね

んっ…うん、ふあ、あ…っ、ううん…  
あっ、ふう…んんっ、うあん…

軽く肌が触れただけなのに気持ちいいんだ？  
おちんちん泣きまくってて…すごいね…

大好きなおっぱいを押し付けられて幸せ？勇者クン

私も動きを合わせてあげる。

淫らになった体であなたを抱いてあげるわ

女の子二人に挟まれちゃってる…こっちを見て。

私とキス、しょ…

んう…ちゅう、ちゅっちゅっ、あふう…んんう、ちゅう

んちゅ、ちゅぷぷぷ、レロレロレロ…

聖女様のキスはとっても濃厚でしょ？

うふふふふ、あとで私からもしてあげる

ん、はむ、ちゅっ…れろれろ…れろ…ちゅう

じゅるっ、くちゅ…くちゅ…あむっ、れろ、れろ…ちゅうちゅう、じゅう…ぶはあ…

勇者様、お顔がとろけきってるよ。だらしがないなあ

もう骨抜きにされちゃった？

じゃあ次は私とのキスよ。天国から戻れなくしてあげるわ。

んっ…んっ、くちゅ…ちゅ、ちゅう、ふう…はあ、はあ…

ちゅっ…はあんっ、はあ…んあ、あんっ…くちゅ、ちゅ…ちゅう…

ちゅぷ、うんっ…ちゅっ、ぴちゅう…ん、ちゅう…

ううんっ…んふあ…はあ…はあ…あっ、はあ…ちゅう…れろっ、れろおっ

すごい…エッチな音…

キスだけでこんなにされちゃうなんて恥ずかしいね、勇者様

ほんとにね。

もう完全に勇者失格じゃないかしら？ふふふふ

可愛いお顔しておねだりしちゃうなんて…

ほらあ、次はこっちよ…はあ…はあ…ん、はむ、ちゅっ…れろれろ…れろ…ちゅう

んっんっんっんっ、くちゅ…くちゅ…あむっ、れる、れる…ちゅうちゅう、じゅう…

ふふっ、休ませないわよ。

私はこっちをもらっちゃう…ん、はむ、ちゅっ…れるれる…れる…ちゅう  
じゅるっ、くちゅ…くちゅ…あむっ、れる、れる…ちゅうちゅう、じゅう…

ちゅぷ、うんっ…ちゅっ、ぴちゅう…ん、ちゅう…

ううんっ…んふあ…はあ…はあ…あっ、はあ…ちゅう…れるっ、れるおっ

んっ…んっ、くちゅ…ちゅ、ちゅう、ふう…はあ、はあ…

ちゅっ…はあんっ、はあ…んあ、あんっ…くちゅ、ちゅ…ちゅう…

ちゅぷ、うんっ…ちゅっ、ぴちゅう…ん、ちゅう…

ううんっ…んふあ…はあ…はあ…あっ、はあ…ちゅう…れるっ、れるおっ

んふ、もう腰がガクガクしてる…

そろそろ、このおちんちんをもらっちゃうね？

よく見てて、ネ…一番奥まで、ゆっくり…

あはあっ、あっさり奥まで入っちゃった。

これで私から逃げられないね？

一度引き抜いて、もう一度奪ってあげる。

何度もこれを繰り返したらすぐに堕ちちゃうかもね。

ふふっ、まだ出さずに我慢できるんだ？

でもこれならどうかな？

きゃはっ、軽く締め付けたら

さっきよりビクビクしてるのエッチすぎだよお…

勇者様あ、そろそろミルクだして？私の膣内、好きでしょ

このまま身を任せて…

唇を重ねたら一番奥で抱きしめてあげるう

んっ…ぷあ、ちゅっ…ちゅう、ちゅう…

ちゅる…ちゅっ、ちゅ…ん、ちゅ…

はあ…ん、はむ、ちゅっ…れろれる…れろ…ちゅう

じゅるっ、くちゅ…くちゅ…あむっ、れろ、れろ…ちゅうちゅう、じゅう

ふふっ、ディアーナのキスだけで

心が何回もとろけちゃいそうね？

んっ…んっ、くちゅ…ちゅ、ちゅう、ふう…はあ、はあ…

ちゅっ…はあんっ、はあ…んあ、あんっ…くちゅ、ちゅ…ちゅう…

ちゅぷ、うんっ…ちゅっ、ぴちゅう…ん、ちゅう…

ううんっ…んふあ…はあ…はあ…あっ、はあ…ちゅう…れろっ、れろおっ

んっ…ぷあ、ちゅっ…ちゅう、ちゅう…

ちゅる…ちゅっ、ちゅ…ん、ちゅ…

はあ…ん、はむ、ちゅっ…れろれる…れろ…ちゅう

じゅるっ、くちゅ…くちゅ…あむっ、れろ、れろ…

これでトドメだよお。

あなたはもう我慢できない…

あー…あむっ、んっ、んむうっ、んっ、んくっ…！

ちゅるっ、ぢゅっ、ぢゅっ…ちう、ちう…

はむっ、んっ、んんっ、れろっ、れろおっ…

あっあっあっあっ…！あん、んんっ…あはあんっ！

はあ…はあ…ん、はむ、ちゅっ…れろれる…れろ…ちゅう

んっんっんっんっ…！ふあ、ああ…ん、くう…あうん！

はあっ…ああ…あっ…！ん、ふあああ…あっ、ああっ…！

イクイクイクイクイクっ…あっ…はあああ————んッ！！！！！！

じゅぷう、ぢゅっ…ちゅうちゅう…

チュッ、私もお手伝いするわ…お耳の中を～…

ちゅっ、ちゅうう…ちゆるる、ちゅっちゅっ

れるお、れるお…ちゅっ、ちゅう…れるっ、れるおっ…

ちゅぷ、うんっ…ちゅっ、ぴちゅう…ん、ちゅう…

うんっ…んふあ…はあ…

はあ…はあ…ん、はむ、ちゅっ…れるれる…れる…ちゅう

んっんっんっんっ、くちゅ…くちゅ…あむっ、れる、れる

出てる。熱い…！

チュッチュッチュ、もっと素直になってえ…

ん、はむ、ちゅっ…れるれる…れる…ちゅう

じゅるっ、くちゅ…くちゅ…あむっ、れる、れる…

まだいっぱい出てるよお…

もっと、もっと私に出してよお…

んっ、くちゅ…ちゅ、ちゅう、ふう…はあ、はあ…

ちゅっ…はあんっ、はあ…んあ、あんっ…くちゅ、ちゅ…ちゅう…

はあ、はあ…ちゅぷっ…うん、ぴちゅっ…ぴちゅっ…

あっ、ああっ、ひう…はああ、あっ、あっ…

…っぷあ。クスツ、いいのお？

そんなに気持ちよさそうにしちゃって

魂の守りがお留守になってるわね。

墮としてあげる♪えいっ

んふふ、簡単に魅了されちゃうね～。

しかもこれは魅了深化（しんか）…

サキュバスである私に縛られたら簡単には抜け出せないわよ

…っぶあ。次はクイーンが犯してあげて？

そうね。でもその前にもう一つプレゼントしてあげなきゃ

聖女のキスで、もっと心をユルユルにしちゃいなさい。

気を失うほどたっぷりキスしてあげて、ディアーナ

はい、クイーン。

んっ…ぶあ、ちゅっ…ちゅう、ちゅう…

ちゅる…ちゅっ、ちゅ…ん、ちゅ…

はあ…ん、はむ、ちゅっ…れろれろ…れろ…ちゅう

じゅるっ、くちゅ…くちゅ…あむっ、れろ、れろ…ちゅうちゅう、じゅう…

その間に私は勇者クンのお腹にキスをするわ

かわいい彼に、私と同じ淫紋をつけてあげるの♪

ん～～～、ちゅっ

はい、完成よ。

隷属の淫呪（いんじゅ）、発動させちゃおうね～

よかったね、勇者様。

クイーンにじっくりと温められて

溶け出した心は全てここに貯まるから  
無駄なく私が吸い取ってあげるわ…

クスクスッ、これで本当にあなたは終わりよ？  
自由に動くことすらできない

さらにもう一つ絶望なさい。  
今からじきじきに私が犯してあげる。  
熱く溶け合いましょ？勇者クン♪

私の魂を、無防備になった貴方の心にかぶせてあげる。  
裸の心と心で溶け合っちゃえば、もう離れられない。  
私からも、ディアーナからも…

もちろん、おちんちんは優しくしてあげる  
サキュバスの名器に包まれて、  
大好きな聖女にキスをされながら果てたら  
どういうことになるか…  
考えるだけでも楽しいわね？

んっ…ふう…あ  
ほらあ、そろそろ一番奥だよ。  
敏感な先っぽを、子宮口であまあ〜く嚙んであげるからね？

んっ…んん…ふあ、ああ…  
全部っ…入ったあ…

うふふ、このまま動いちゃうけど、気持ちよすぎたら叫んでもいいわよ。  
ディアーナが口をふさいでくれるから

はあっ…ん、く…あうん…んっ…はあん…！  
はあっ…ああ…あっ…ん、ふあああ…あっ、ああっ…！

んんんっ、はあっ…はっ…んんっ…あ、あああ…はあんっ！  
んんっ…ん、んう…はあ…はあ…

ん、んくっ…ん、はあ…あ、うう…くうん…  
うっ、んん…あふう、ふう…んん…くう…！  
ふふ、その様子だとすぐにでも出ちゃいそうね。流石は勇者クン♪  
ほらあ、もう我慢しなくていいわ…さあ、イきなさい

んっんっんっんっ…！ふあ、ああ！  
イケっ、イケっ！皆の勇者様が淫魔とのセックスで情けなく  
射精する姿を私に見せなさいっ…！  
はあっ…あっあっあっあうんっ！んんう————っ！！！！

あっ…はあ、はあ、はあ…んふふふ  
サキュバスの中に出しちゃうなんて悪い子ね、勇者クン。  
あんなに凛々しかった顔が涎を垂らしてなっさけなあい。  
こんな姿を見せて私を楽しませてくれるんだあ？

さて…どれだけおもらししたのか、ディアーナにも見てもらいましょうね？

勇者様、クイーンの膣内にこんなに出すなんて…  
許せない。今度は私がやるから代わって！

はいはい、かわりましょうか。  
やきもち焼きの聖女様、せいぜい手加減してあげてね？

手加減なんて無理です。  
勇者様が気絶できないように、永続結界を張っちゃうから！

それは素敵ね。勇者クン、聞いた？  
この先も彼女と交代で犯してあげるわ。

私と彼女の幻も交えて、時間が止まったこの空間で、永遠にね。

ふふっ…うふふふふ…♪あははははははははっ!!!